第83回 全国産業安全衛生大会開催！

～広島での開催に沖縄県からもツアーで参加～

第 83 回全国産業安全衛生大会が、11 月 13 日（水）から 15 日（金）の期間、広島において「変わる時代に　変わらぬ誓い　安全・健康・平和な未来」を大会テーマに開催され、全国から約 1 万人が参加しました。沖縄県労働基準協会では、ＪＴＢ沖縄の協力でツアーを企画し、45 名の会員事業場の方が参加しました。

総合集会

初日の総合集会（会場：広島県立総合体育館）では、開会式の後安全衛生功労者の表彰も行われ、沖縄県からは豊里友彦沖縄県労働基準協会前監事（大和コンクリート工業（株）代表取締役会長）が「緑十字賞」を受賞されました。その後、大会宣言が採択され、少子高齢化、人口減少社会が進み、人手不足の課題がますます顕著になる中で、高齢者や女性など多様な人材が安心して働くことができる環境を整えていくことが求められている。国、事業者、労働者等全ての関係者が、第 14 次労働災害防止計画に掲げられた重点事項を確実に実施することが重要である。広島の地で開催される本大会において、労働災害による犠牲者をこれ以上出さないという決意を新たに、関係者が一丸となって取り組むことを誓いました。特別講演では、Deportare Partners 代表で元陸上選手の為末大氏が「熟達しつづけるために」と題して、オリンピックでの転倒による予選敗退からスプリント種目世界大会で日本人初のメダル獲得までの経験から、具体的な目標設定とその達成度の日々の振り返りが熟達のプロセスである。熟達を通してより良い人生を歩むことができる旨のお話しがありました。

大会 2 日目と 3 日目は、分科会となり、各分科会「マネジメントシステム・リスクアセスメント」、「安全管理活動」、「ＤＸ等」、「安全衛生教育」、「ゼロ災運動」、「労働衛生管理活動」及び「メンタルヘルス・健康づくり・健康経営」において、全国の事業場からの研究発表をはじめ、最新の安全衛生の課題に対応した講演、パネルディスカッション等が開催され、大会参加者は自社の安全衛生活動の参考となる分科会に参加していました。また、「緑十字展 2024 ～働く人の安心づくりフェア～」も同時開催され、187 社・団体が出展する安全衛生保護具・機器等の総合展示会となっており、参加者は最新の安全衛生保護具・機器等を見て説明を受けていました。

工場見学

当協会企画のツアーは、総合集会に参加するため前泊となり、ツアー初日は福岡空港に到着後新幹線で広島県に入り、福山駅からバスで移動し、「びんご府中ものづくりのまち」ツアーとして「北川鉄工所福山工場」を見学しました。同工場は、主に外車のＡＴ車のミッション部品の鋳物製造をしており、「製品と人にやさしい工場」をコンセプトに最新鋭の自動ロボット設備を工場全体に配備して省人化を図っていました。各工程ごとの検査は、省人化が難しく、人の眼によって行われていました。夜は、懇親会を開催し、会員間の交流や親睦を深めました。ツアー２日目は、呉湾戦艦めぐりツアーを行い、昼食後に総合集会に参加しました。夕食は、オプションツアーとして路面電車の貸切で広島市内の夜景を楽しみながら再度交流や親睦を深めました。また、ツアー３日目のお昼はオプションとして宮島蛎を堪能しました。

懇親会

呉港戦艦めぐり

路面電車親睦会

２日目の昼食

宮島蛎昼食

最終日昼食（穴子釜飯）

次回の第 84 回全国産業安全衛生大会は、令和 7 年 9 月 10 ～ 12 日の日程で 大阪での開催を予定しております。大阪・関西万博の開催期間中です。分科会は、自社の安全衛生活動の参考にもなりますので、皆様のツアー御参加をお待ちしております。